

JAPAN HERITAGE

日本遺産

目次

日本遺産とは …… P04 - P08

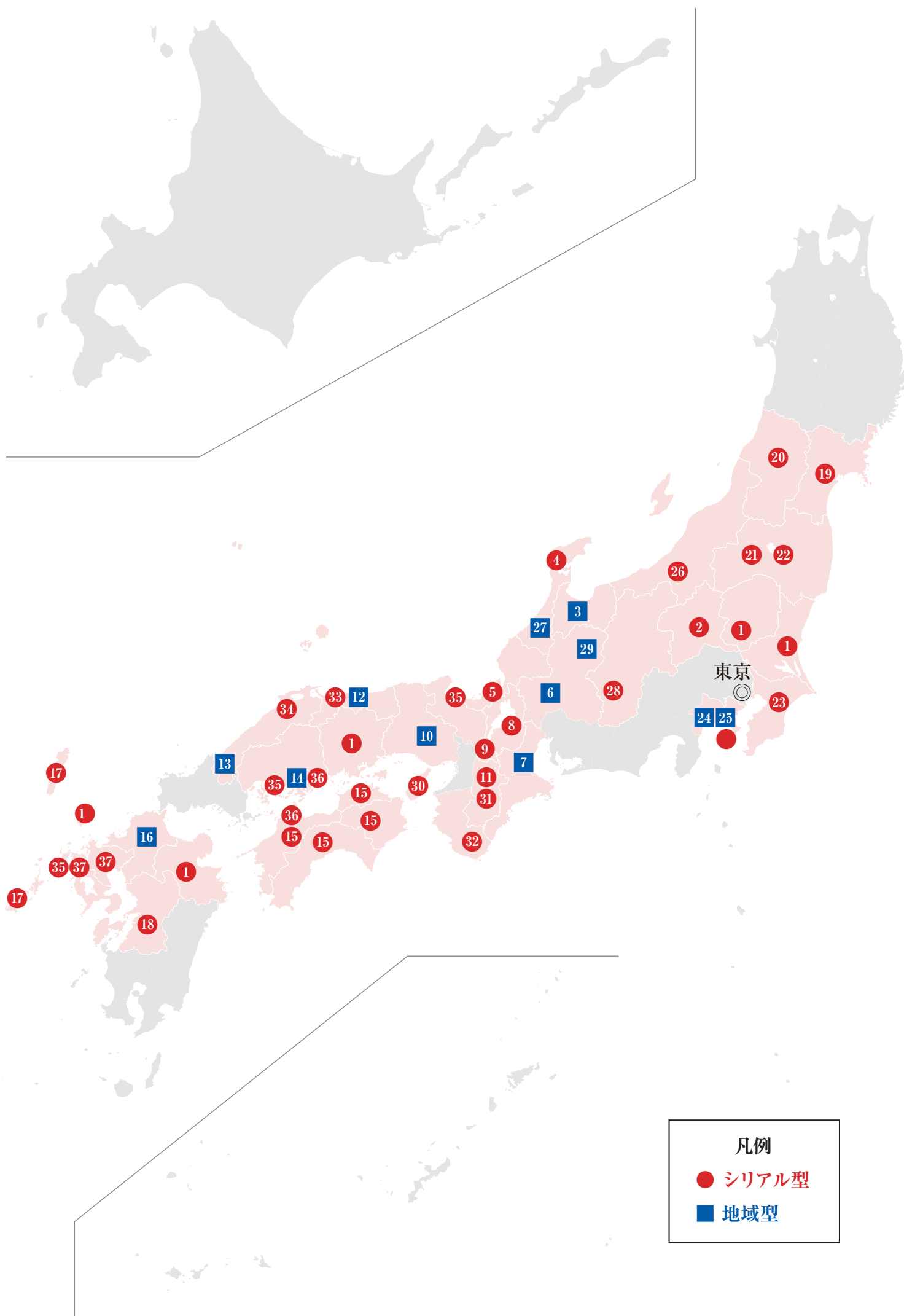
〔認定ストーリー〕

〈平成27年度認定〉

ストーリー1	栃木・茨城・岡山・大分 近世日本の教育遺産群 ―学ぶ心・礼節の本源―	P10
ストーリー2	群馬 かかあ天下 ―ぐんまの絹物語―	P11
ストーリー3	富山 加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡 ―人、技、心―	P12
ストーリー4	石川 灯(あか)り舞う半島 能登 ～熱狂のキリコ祭り～	P13
ストーリー5	福井 海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群 ～御食国(みけつくに)若狭と鯖街道～	P14
ストーリー6	岐阜 「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜	P15
ストーリー7	三重 祈る皇女斎王のみやこ 斎宮	P16
ストーリー8	滋賀 琵琶湖とその水辺景観 ―祈りと暮らしの水遺産	P17
ストーリー9	京都 日本茶800年の歴史散歩	P18
ストーリー10	兵庫 丹波篠山 デカンショ節 ―民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶―	P19
ストーリー11	奈良 日本国創成のとき ―飛鳥を翔(かけ)た女性たち―	P20
ストーリー12	鳥取 六根清浄と六感治癒の地 ～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～	P21
ストーリー13	鳥根 津和野今昔 ～百景園を歩く～	P22
ストーリー14	広島 尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市	P23
ストーリー15	愛媛・高知・徳島・香川 「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～	P24
ストーリー16	福岡 古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～	P25
ストーリー17	長崎 国境の島 壱岐・対馬・五島 ～古代からの架け橋～	P26
ストーリー18	熊本 相良700年が生んだ保守と進取の文化 ～日本でもっとも豊かな隠れ里―人吉球磨～	P27

〈平成28年度認定〉

ストーリー19	宮城 政宗が育んだ“伊達”な文化	P28
ストーリー20	山形 自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』 ～樹齢300年を超える杉並木につつまれた2,446段の石段から始まる出羽三山～	P29
ストーリー21	福島 会津の三十三観音めぐり ～巡礼を通して観た往時の会津の文化～	P30
ストーリー22	福島 未来を拓いた「一本の水路」―大久保利通“最期の夢”と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代―	P31
ストーリー23	千葉 「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み ―佐倉・成田・佐原・銚子:百万都市江戸を支えた江戸近郊の四つの代表的町並み群―」	P32
ストーリー24	神奈川 江戸庶民の信仰と行楽の地 ～巨大な木太刀を担いで「大山詣り」～	P33
ストーリー25	神奈川 「いざ、鎌倉」～歴史と文化が描くモザイク画のまちへ～	P34
ストーリー26	新潟 「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化	P35
ストーリー27	石川 『珠玉と歩む物語』小松 ～時の流れの中で磨き上げた石の文化～	P36
ストーリー28	長野 木曾路はすべて山の中 ～山を守り 山に生きる～	P37
ストーリー29	岐阜 飛騨匠の技・こころ ―木とともに、今に引き継ぐ1300年―	P38
ストーリー30	兵庫 『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」～古代国家を支えた海人の営み～	P39
ストーリー31	奈良 森に生まれ、森を育んだ人々の暮らしとこころ ～美林連なる造林発祥の地“吉野”～	P40
ストーリー32	和歌山 鯨とともに生きる	P41
ストーリー33	鳥取 地藏信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市	P42
ストーリー34	鳥根 出雲國たたら風土記 ～鉄づくり千年が生んだ物語～	P43
ストーリー35	神奈川・京都・広島・長崎 鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴 ～日本近代化の躍動を体感できるまち～	P44
ストーリー36	広島・愛媛 “日本最大の海賊”の本拠地:芸予諸島 ―よみがえる村上海賊“Murakami KAIZOKU”の記憶―	P45
ストーリー37	佐賀・長崎 日本磁器のふるさと 肥前 ～百花繚乱のやきもの散歩～	P46



日本遺産とは？

1. 主旨と目的

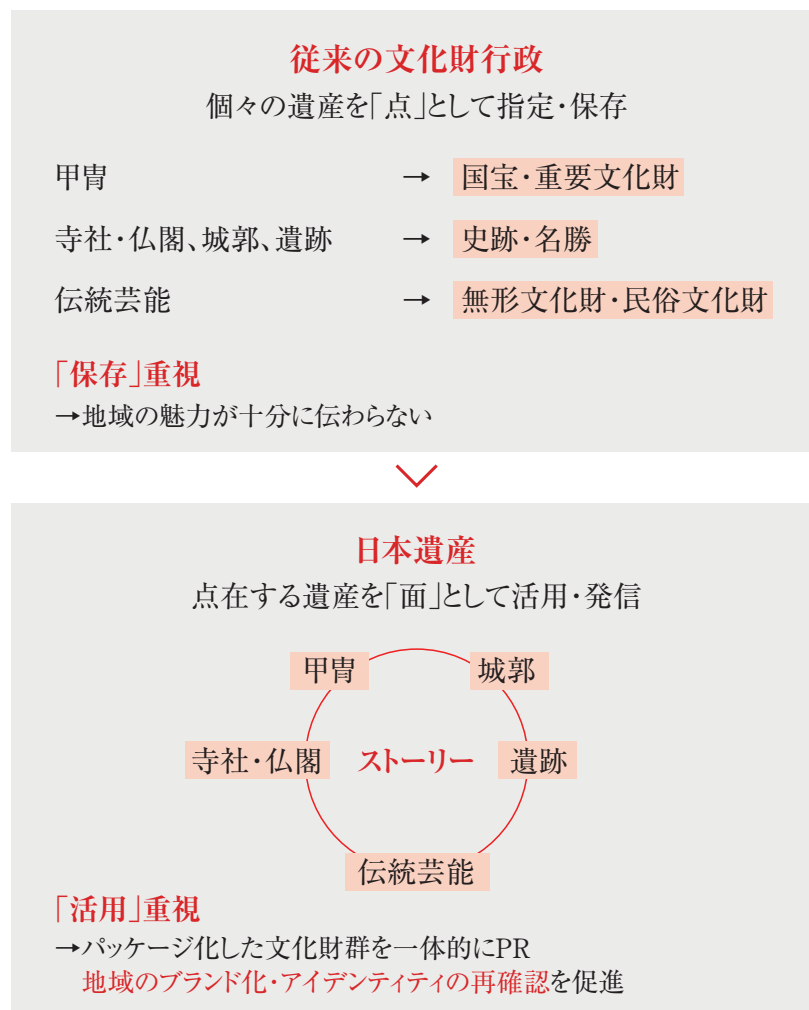
我が国の文化財や伝統文化を通じた地域の活性化を図るためには、その歴史的経緯や、地域の風土に根ざした世代を超えて受け継がれている伝承、風習などを踏まえたストーリーの下に有形・無形の文化財をパッケージ化し、これらの活用を図る中で、情報発信や人材育成・伝承、環境整備などの取組を効果的に進めていく必要があります。

文化庁では、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として認定し、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用する取組を支援します。

2. 日本遺産事業の方向性

日本遺産事業の方向性は次の3つに集約されます。

- ①地域に点在する文化財の把握とストーリーによるパッケージ化
- ②地域全体としての一体的な整備・活用
- ③国内外への積極的かつ戦略的・効果的な発信



日本遺産に申請するには？

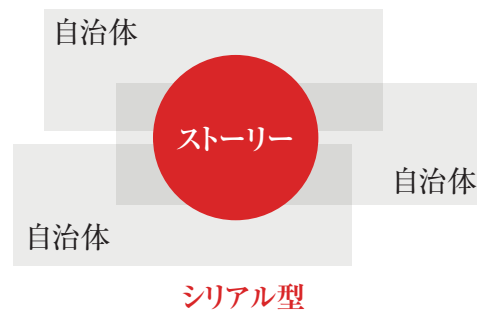
3. 認定するストーリー

日本遺産として認定するストーリーは次の3点を踏まえた内容とします。

- ①歴史的経緯や地域の風習に根ざし、世代を超えて受け継がれている伝承、風習などを踏まえたものであること。
- ②ストーリーの中核には、地域の魅力として発信する明確なテーマを設定の上、建造物や遺跡・名勝地、祭りなど、地域に根ざして継承・保存がなされている文化財にまつわるものを据えること。
- ③単に地域の歴史や文化財の価値を解説するだけのものになっていないこと。

日本遺産として認定申請するストーリーには次の2つの種類があります。

- 「地域型」・・・単一の市町村内でストーリーが完結
- 「シリアル型」・・・複数の市町村にまたがってストーリーが展開



4. 認定申請の要件

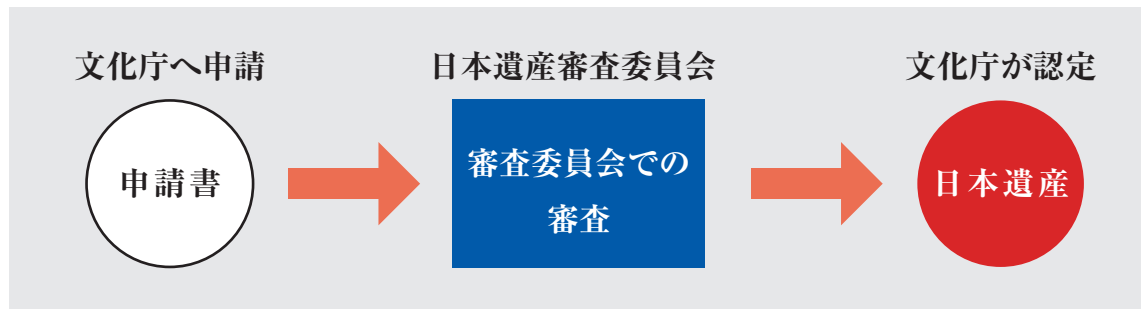
年に1回、文化庁が都道府県を通じて公募します。

- ①申請者は市町村とします。シリアル型の場合は原則市町村の連名としますが、当該市町村が同一都道府県内にある場合は、都道府県が申請者となることも可能です。
- ②ストーリーを構成する文化財群は地域に受け継がれている有形・無形のあらゆる文化財が対象で、地方指定や未指定の文化財を含めることも可能ですが、国指定・選定のものを必ず一つは含める必要があります。
- ③地域型で申請する場合は、歴史文化基本構想もしくは歴史的風致維持向上計画を策定済みの市町村、又は世界文化遺産一覧表記載案件もしくは世界文化遺産暫定一覧表記載・候補案件の構成資産を有する市町村であることが条件となります。

日本遺産の認定審査

5. 認定の可否

「日本遺産」認定の可否は、文化庁に設置する外部有識者で構成される「日本遺産審査委員会」の審査結果を踏まえて、文化庁が認定します。



6. 審査基準

日本遺産に認定するストーリーの審査基準には、次の3つがあります。

- ①ストーリーの内容が、当該地域の際だった歴史的特徴・特色を示すものであるとともに我が国の魅力を十分に伝えるものになっていること。

※具体的には、以下の観点から総合的に判断します。

- (1)興味深さ：人々が関心を持ったり惹きつけられたりする内容となっている。
 - (2)斬新さ：あまり知られていなかった点や隠れた魅力を打ち出している。
 - (3)訴求力：専門的な知識がなくても理解しやすい内容となっている。
 - (4)希少性：他の地域ではあまり見られない希有な点がある。
 - (5)地域性：地域特有の文化が現れている。
- ②日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像(ビジョン)と、実現に向けた具体的な方策が適切に示されていること。
 - ③ストーリーの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること。

ロゴマークについて

7. ロゴマークについて

認定された「日本遺産」を紹介するパンフレットなどにおいて表示するロゴマークはグラフィックデザイナーの佐藤卓氏に作成いただいたものです。日の丸は日本を表し、その下の縦格子のように見える繊細な線の集合は、よく見るとJAPAN HERITAGEの文字です。

この線の集合は、ひとつの「面」を形作っています。つまり、日本の遺産を点から線へ、そして面で捉える「日本遺産」を表現しています。



8. ロゴマークの使用等について

- ①新聞、テレビ、雑誌などの報道機関
- ②認定された日本遺産の申請者
- ③日本遺産魅力発信推進事業の補助金の交付を受けた協議会及びその構成団体
においては、日本遺産のストーリーの普及啓発、広報、理解促進を目的とした場合に限り、ロゴマークを無償で 사용할 ことができます。
- ④構成文化財の所有者・管理者、ストーリーの域内の団体・企業・個人
- ⑤その他、協議会が必要と認める者
においては、日本遺産のストーリーの普及啓発、広報、理解促進を目的とした場合に限り、上記③の協議会に対し、事前に届け出を出していただいた上で、本ロゴマークを無償で 使用することができます。

手続きなどの詳細は文化庁の日本遺産ホームページを御覧ください。

今後の取組み

9. 認定件数

2020年に東京で開催予定のオリンピック・パラリンピックに向け、年間の訪日外国人旅行者数が増加しつづけることが見込まれます。これら旅行者が日本全国を周遊し、地域の活性化に結びつくようにするためには、観光客の受け皿となるべき日本遺産が日本各地にバランス良く存在することが理想的です。

その一方で日本遺産としてのブランド力を保つためには、認定件数を一定程度に限定することも有効と考えられます。

以上を踏まえ、文化庁では、日本遺産を2020年までに100件程度認定していく予定です。

また、認定を受けたストーリーに対しては、日本遺産魅力発信推進事業という文化芸術振興費補助金の交付による支援も行います。

10. 日本遺産魅力発信推進事業

日本遺産魅力発信推進事業では次の4つの事業を対象としています。

①情報発信、人材育成事業

日本遺産コーディネーターの配置、多言語HP・パンフレットの作成、ボランティア解説員の育成など

②普及啓発事業

発表会、展覧会、ワークショップ、シンポジウムの開催、PRイベント(国内外)の開催、日本遺産検定の実施など

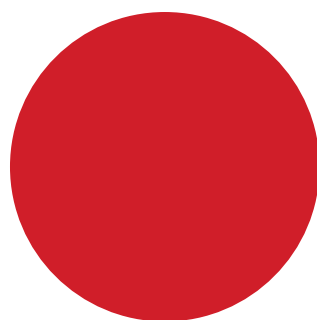
③調査研究事業

未指定の構成文化財を対象とした資料収集など

④公開活用のための整備に係る事業

ストーリーの理解に有効なガイダンス機能の強化、周辺環境整備(トイレ・ベンチ、説明板の設置など)

以上の事業を推進することにより、確実に地域が自立的に活性化に取り組んで行ける仕組みを構築していきます。



JAPAN HERITAGE

日本遺産

日本遺産認定ストーリー



豆田町：私塾咸宜園と共生したまち(日田市)



旧弘道館：日本最大規模の藩校(1841-1872：水戸市)



国宝漢籍『礼記正義』『尚書正義』『文選』『周易注疏』(足利市)



旧閑谷学校：世界最古の庶民のための公立学校(1670-1870：備前市)

認定ストーリー

1

タイトル：近世日本の教育遺産群 ―学ぶ心・礼節の本源―

分類：シリアル

所在自治体：水戸市(茨城県)・足利市(栃木県)・備前市(岡山県)・日田市(大分県)

ストーリーの概要：我が国では、近代教育制度の導入前から、支配者層である武士のみならず、多くの庶民も読み書き・算術ができ、礼儀正しさを身に付けるなど、高い教育水準を示した。これは、藩校や郷学、私塾など、様々な階層を対象とした学校の普及による影響が大きく、明治維新以降のいち早い近代化の原動力となり、現代においても、学問・教育に力を入れ、礼節を重んじる日本人の国民性として受け継がれている。

- 主な構成文化財：
- 旧弘道館・常磐公園(偕楽園)(水戸市)
 - 足利学校跡・国宝漢籍「礼記正義」「尚書正義」「文選」「周易注疏」(足利市)
 - 旧閑谷学校・積菜(備前市)
 - 咸宜園跡・日田市豆田町重要伝統的建造物群保存地区(日田市)

問い合わせ先：水戸市教育委員会事務局教育部歴史文化財課世界遺産推進室世界遺産係
茨城県水戸市笠原町978-5 TEL:029-306-8132 FAX:029-306-8693
E-mail : isan@city.mito.lg.jp



後藤織物(桐生市)



中之条養蚕



旧模範工場桐生撚糸合資会社事務所棟(桐生市):大規模撚糸工場の事務所



富沢家住宅(中之条町)

認定ストーリー

2

タイトル: かかあ天下—ぐんまの絹物語—

分類: シリアル

所在自治体: 群馬県(桐生市、甘楽町、中之条町、片品村)

ストーリーの概要: 古くから絹産業の盛んな上州では、女性が養蚕・製糸・織物で家計を支え、近代になると、製糸工女や織手としてますます女性が活躍した。夫(男)たちは、おれの「かかあは天下」と呼び、これが「かかあ天下」として上州名物になるとともに、現代では内に外に活躍する女性像の代名詞ともなっている。「かかあ」たちの夢や情熱が詰まった養蚕の家々や織物の工場を訪ねることで、日本経済を、まさに天下を支えた日本の女性たちの姿が見えてくる。

- 主な構成文化財: - 富沢家住宅(中之条町)
- 永井流養蚕伝習所実習棟(片品村)
- 旧小幡組製糸レンガ造り倉庫(甘楽町)
- 旧模範工場桐生撚糸合資会社事務所棟(桐生市)
- 後藤織物(桐生市)

問い合わせ先: 群馬県企画部世界遺産課世界遺産係
群馬県前橋市大手町1-1-1 TEL:027-226-2328 FAX:027-224-2812
E-mail: sekaisan@pref.gunma.lg.jp



金屋町重要伝統的建造物群保存地区：高岡開町に際し鋳物師（いもじ）を招いたことに始まる鋳物師町



重要伝統的建造物群保存地区山町筋を巡行する高岡御車山：重厚かつ繊細な意匠を持つ土蔵造りの商人町。高岡御車山を所有・継承していることから「山町」と呼ばれている。



加賀藩主前田家墓所（前田利長墓所）：近世大名の個人墓所として破格の規模を誇っている。瑞龍寺とともに前田利長を偲ぶ。



瑞龍寺：高岡開町の祖前田利長の菩提を弔うために建てられた曹洞宗寺院

認定ストーリー

3

タイトル：加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡 一人、技、心一

分類：地域

所在自治体：高岡市

ストーリーの概要：高岡は商工業で発展し、町民によって文化が興り受け継がれてきた都市である。高岡城が廃城となり、繁栄が危ぶまれたところで加賀藩は商工本位の町への転換政策を実施し、浮足立つ町民に活を入れた。鋳物や漆工などの独自生産力を高める一方、穀倉地帯を控え、米などの物資を運ぶ良港を持ち、米や綿、肥料などの取引拠点として高岡は「加賀藩の台所」と呼ばれる程の隆盛を極める。

町民は、固有の祭礼など、地域にその富を還元し、町民自身が担う文化を形成した。純然たる町民の町として発展し続け、現在でも町割り、街道筋、町並み、生業や伝統行事などに、高岡町民の歩みが色濃く残されている。

- 主な構成文化財：
- 高岡御車山
 - 高岡城跡
 - 高岡鋳物の製作用具及び製品
 - 山町筋重要伝統的建造物群保存地区
 - 仁安の御繪旨

問い合わせ先：高岡市教育委員会事務局 文化財課
富山県高岡市広小路7番50号 TEL:0766-20-1453 FAX:0766-20-1667
E-mail : bunkazai@city.takaoka.lg.jp



あばれ祭り(能登町)



宝立七夕キリコ祭り(珠洲市)



輪島大祭(輪島市)



沖波の大漁祭り(穴水町)



西海祭り(志賀町)



石崎奉燈祭(七尾市)

認定ストーリー

4

タイトル: 灯(あか)り舞う半島 能登 ~熱狂のキリコ祭り~

分類: シリアル

所在自治体: 石川県(七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町)

ストーリーの概要: 日本海文化の交流拠点である能登半島は独自の文化を育み、数多くの祭礼が行われてきた。その白眉はキリコ祭りとい総称される灯籠神事。夏、約200地区で行われ、能登を照らし出す。日本の原風景である素朴な農漁村で神輿とともに、最大で2トン、高さ15mのキリコを担ぎ上げ、激しく練り回る。祇園信仰や夏越しの神事から発生した祭礼が、地区同士でその威勢を競い合う中で独特な発展をし、そしてこれほどまでに灯籠神事が集積をした地域は唯一無二。夏、能登を旅すればキリコ祭りに必ず巡り会えると言っても過言ではなく、それは神々に巡り会ふ旅ともなる。

- 主な構成文化財:
- あばれ祭り(能登町)
 - 宝立七夕キリコ祭り(珠洲市)
 - 輪島大祭(輪島市)
 - 沖波の大漁祭り(穴水町)
 - 西海祭り(志賀町)
 - 石崎奉燈祭(七尾市)

問い合わせ先: 石川県教育委員会事務局文化財課
石川県金沢市鞍月1-1 TEL:076-225-1844 FAX:076-225-1843
E-mail: bunkazai@pref.shikawa.lg.jp



瓜割の滝(若狭町):滝の周辺には森が広がり、岩に苔が群生する幻想的な光景



旧料亭蓬嶋楼(小浜市):小浜市西組地区に残る明治時代の建物



熊川宿(若狭町):若狭街道最大の中継地となった宿場町



和久里壬生狂言(小浜市):無言仮面の狂言は人の道を逆説的にコミカルに伝える

認定ストーリー

5

タイトル:海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国(みけつくに)若狭と鯖街道～

分類:シリアル

所在自治体:福井県(小浜市、若狭町)

ストーリーの概要:若狭は、古代から「御食国」として塩や海産物など豊富な食材を都に運び、都の食文化を支えてきた地である。また、大陸からつながる海の道と都へとつながる陸の道が結節する最大の拠点となった地であり、古代から続く往来の歴史の中で、街道沿いには港、城下町、宿場町が栄え、また往来によりもたらされた祭礼、芸能、仏教文化が街道沿いから農漁村にまで広く伝播し、独自の発展を遂げた。近年「鯖街道」と呼ばれるこの街道沿いには、往時の賑わいを伝える町並みとともに、豊かな自然や、受け継がれてきた食や祭礼など様々な文化が今も息づいている。

- 主な構成文化財:
- 鯖街道(若狭街道)(小浜市・若狭町)
 - 重要伝統的建造物群保存地区 小浜西組(小浜市)
 - 重要伝統的建造物群保存地区 熊川宿(若狭町)
 - お水送り(小浜市)
 - 小浜の祇園祭礼群(小浜放生祭)(小浜市)
 - 若狭塗(小浜市)
 - 三方五湖(若狭町)
 - 瓜割の滝(若狭町)
 - 和久里壬生狂言(小浜市)

問い合わせ先:福井県観光営業部文化振興課

福井県福井市大手3丁目17-1 TEL:0776-20-0572 FAX:0776-20-0661

E-mail: bunshin@pref.fukui.lg.jp



船上の遊宴文化：鵜飼とともに発展したおもてなし文化



長良川の鵜飼：1300年以上の歴史をもっている漁法



岐阜城跡：織田信長の拠点となった城跡

認定ストーリー

6

タイトル：「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜

分類：地域

所在自治体：岐阜市

ストーリーの概要：戦国時代、岐阜城を拠点に天下統一を目指した織田信長。彼は戦いを進める一方、城内に「地上の楽園」と称される宮殿を建設、軍事施設である城に「魅せる」という独創性を加え、城下一帯を最高のおもてなし空間としてまとめあげる。自然景観を活かした城内外の眺望や長良川での鵜飼観覧による接待。冷徹なイメージを覆すような信長のおもてなしは、宣教師ルイス・フロイスら世界の賓客をも魅了した。信長が形作った城・町・川文化は城としての役割を終えた後も受け継がれ、現在の岐阜の町に息づいている。



- 主な構成文化財：
- 岐阜城跡
 - 岐阜城跡出土金箔飾り瓦
 - 楽市楽座制札
 - 川原町のまちなみ
 - 船上の遊宴文化
 - 長良川の鵜飼漁の技術
 - 長良川中流域における岐阜の文化的景観

問い合わせ先：岐阜市教育委員会事務局社会教育課歴史遺産活用推進係
岐阜県岐阜市神田町1-11 TEL:058-214-2365 FAX:058-265-4333
E-mail : ky-shakai@city.gifu.gifu.jp



斎王の森



竹神社：斎王の宮殿があった神聖な祈りの場所



斎王尾野湊御禊場跡



斎宮での斎王の暮らしは、都さながらの雅やかな生活を送っていた

認定ストーリー

7

タイトル：祈る皇女斎王のみやこ 斎宮

分類：地域

所在自治体：明和町

ストーリーの概要：古代から中世にわたり、天皇に代わって伊勢神宮の天照大神に仕えた「斎王」は、皇女として生まれながら、都から離れた伊勢の地で、人と神との架け橋として、国の平安と繁栄を願い、神への祈りを捧げる日々を送った。斎王の宮殿である斎宮は、伊勢神宮領の入口に位置し、都さながらの雅な暮らしが営まれていたと言われている。地元の人々によって神聖な土地として守り続けられてきた斎宮跡一帯は、日本で斎宮が存在した唯一の場所として、皇女の祈りの精神を今日に伝えている。

- 主な構成文化財：
- 斎宮跡
 - 斎王の森
 - 祓川
 - 竹神社
 - 斎王尾野湊御禊場跡

問い合わせ先：明和町斎宮跡・文化観光課文化財係

三重県多気郡明和町大字馬之上945番地 TEL:0596-52-7126 FAX:0596-52-7133

E-mail : saikuuato@town.mie-meiwa.lg.jp



白鬚神社(高島市):大きな朱色の鳥居が湖に建っている



菅浦の湖岸集落景観(長浜市):急峻な湖岸地形に形成された集落



朝日豊年太鼓踊(米原市):雨乞祈願と降雨感謝のため太鼓や鉦を打ち鳴らして踊る



オイサデ網漁:琵琶湖の環境と資源を守る伝統漁法

認定ストーリー

8

タイトル: 琵琶湖とその水辺景観—祈りと暮らしの水遺産

分類: シリアル

所在自治体: 滋賀県(大津市、彦根市、近江八幡市、高島市、東近江市、米原市、長浜市)

ストーリーの概要: 穢れを除き、病を癒すものとして祀られてきた水。仏教の普及とともに東方にあっては、瑠璃色に輝く「水の浄土」の教主・薬師如来が広く信仰されてきた。琵琶湖では、「水の浄土」を臨んで多くの寺社が建立され、今日も多くの人々を惹きつけている。また、暮らしには、山から水を引いた古式水道や湧き水を使いながら汚さないルールが伝わっている。湖辺の集落や湖中の島では、米と魚を活用した鮒ずしなどの独自の食文化やエリなどの漁法が育まれた。多くの生き物を育む水郷や水辺の景観は、芸術や庭園に取り上げられてきたが、近年では、水と人の営みが調和した文化的景観として、多くの現代人をひきつけている。ここには、日本人の高度な「水の文化」の歴史が集積されている。

- 主な構成文化財:
- 延暦寺(大津市)
 - 玄宮楽々園(彦根市)
 - 近江八幡の水郷(近江八幡市)
 - 白鬚神社(高島市)
 - 五個荘金堂重要伝統的建造物群保存地区(東近江市)
 - 伊吹山西麓地域(米原市)
 - 竹生島(長浜市)

問い合わせ先: 日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会事務局
(公益社団法人びわこビクターズビューロー)
滋賀県大津市打出浜2番1号「コラボしが21」6階
TEL:077-511-1530 FAX:077-526-4393
E-mail: kokunai@biwako-visitors.jp



永谷宗円生家(宇治田原町)



山なり茶園：室町時代からたゆむことなく茶を作り続けている



萬福寺の野点

認定ストーリー

9

タイトル：日本茶800年の歴史散歩

分類：シリアル

所在自治体：京都府(宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村)

ストーリーの概要：お茶が中国から日本に伝えられて以降、京都・南山城は、お茶の生産技術を向上させ、茶の湯に使用される「抹茶」、今日広く飲まれている「煎茶」、高級茶として世界的に広く知られる「玉露」を生み出した。この地域は、約800年間にわたり最高級の多種多様なお茶を作り続け、日本の特徴的文化である茶道など、我が国の喫茶文化の展開を生産、製茶面からリードし、発展をとげてきた歴史と、その発展段階毎の景観を残しつつ今に伝える独特で美しい茶畑、茶問屋、茶まつりなどの代表例が優良な状態で揃って残っている唯一の場所である。

- 主な構成文化財：
- 名水汲み上げの儀(宇治市)
 - 煎茶をつくる山なり茶園(和束町)
 - 永谷宗円生家(宇治田原町)
 - 上狛茶問屋街(木津川市)
 - てん茶(抹茶)をつくる覆下茶園(八幡市)
 - 山上の縦畝茶園(南山城村)

問い合わせ先：京都府企画理事付

京都府京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町 TEL:075-414-4529 FAX:075-414-4389

E-mail: kikakuriji-seisaku@pref.kyoto.lg.jp



丸山集落：薬葺き屋根の古民家を農家民宿として再生



デカンショ節：民謡は丹波篠山をあらわし、江戸時代から歌い継がれている



篠山城跡：1609年に建てられた城跡

認定ストーリー

10

タイトル：丹波篠山 デカンショ節—民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶—

分類：地域

所在自治体：篠山市

ストーリーの概要：かつて城下町として栄えた丹波篠山の地は、江戸時代の民謡を起源とするデカンショ節によって、地域のその時代ごとの風土や人情、名所、名産品が歌い継がれている。地元の人々はこぞってこれを愛唱し、民謡の世界そのままにふるさとの景色を守り伝え、地域への愛着を育んできた。その流れは、今日においても、新たな歌詞を生み出し新たな丹波篠山を更に後世に歌い継ぐ取組として脈々と生き続けており、今や300番にも上る「デカンショ節」を通じ、丹波篠山の町並みや伝統をそこかしこで体験できる世界が展開している。



東京

主な構成文化財： - デカンショ節

- 篠山城跡
- 鳳鳴酒造
- 丸山集落
- 丹波立杭窯
- 青山歴史村

問い合わせ先：篠山市政策部創造都市課

兵庫県篠山市北新町41 TEL:079-552-5106 FAX:079-552-5665

E-mail : sozotoshi_div@city.sasayama.hyogo.jp



高取城跡猿石：城跡に残る猿の造形(高取町)



大和三山・畝傍山：畝傍山に沈む夕日(橿原市)



高松塚古墳壁画：飛鳥美人と呼ばれた西壁女子群像(明日香村)

認定ストーリー

11

タイトル：日本国創成のとき—飛鳥を翔(かけ)た女性たち—

分類：シリアル

所在自治体：明日香村・橿原市・高取町

ストーリーの概要：日本が「国家」として歩み始めた飛鳥時代。この日本の黎明期を牽引したのは女性であった。この時代の天皇の半数は女帝であり、彼女たちの手によって、新たな都の造営、外交、大宝律令を始めとする法制度が整備された。また、文化面では、女流歌人が感性豊かな万葉歌を高らかに詠い上げ、宗教面では、尼僧が仏教の教えを広め、発展させるなど、政治・文化・宗教の各方面で女性が我が国の新しい“かたち”を産み出し、成熟させていった。日本国創成の地である飛鳥は、日本史上、女性が最も力強く活躍した場所であり、その痕跡が色濃く残る地である。

- 主な構成文化財：
- 伝飛鳥板蓋宮跡(明日香村)
 - 藤原宮跡(橿原市)
 - 飛鳥京跡苑池(明日香村)
 - 高松塚古墳壁画(明日香村)
 - 高取城跡猿石(高取町)

問い合わせ先：明日香村教育委員会文化財課

奈良県高市郡明日香村大字川原91-3 TEL:0744-54-5600 FAX:0744-54-5602

E-mail : bunkazai@tobutori-asuka.jp



三徳山：聖なる山、六根清浄の中心地



三仏寺奥院(投入堂)：三徳山のシンボル。その建立方法は謎のまま



三徳山火渡り：人々の願い事を書いた護摩木の火の上を素足で歩くという神事

認定ストーリー

タイトル：六根清浄と六感治癒の地 ～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～

分類：地域

所在自治体：三朝町

12

ストーリーの概要：『三徳山』は、山岳修験の場としての急峻な地形と神仏習合の特異の意匠・構造を持つ建築とが織りなす独特の景観を有しており、その人を寄せ付けない厳かさは1000年にわたって畏怖の念を持って守られ続けている。
参拝の前に心身を清める場所として三徳山参詣の拠点を担った『三朝温泉』は、三徳山参詣の折に白狼により示されたとの伝説が残り、温泉発見から900年を経て、なお、三徳山信仰と深くつながっている。今日、三徳山参詣は、断崖絶壁での参拝により「六根(目、耳、鼻、舌、身、意)」を清め、湯治により「六感(観、聴、香、味、触、心)」を癒すという、ユニークな世界を具現化している。

- 主な構成文化財：
- 三徳山
 - 三仏寺奥院(投入堂)
 - 三仏寺本堂
 - 三朝のジンショ
 - 三朝温泉
 - 精進料理と三徳豆腐

問い合わせ先：三朝町教育委員会社会教育課

鳥取県東伯郡三朝町大瀬999番地2 TEL:0858-43-3518 FAX:0858-43-0647

E-mail: kyoiuku@town.misasa.tottori.jp



津和野城跡には建物はないが、石垣は完全な形で保存されている。



弥栄神社の鷺舞神事は、およそ470年変わらぬ形で受け継がれている。



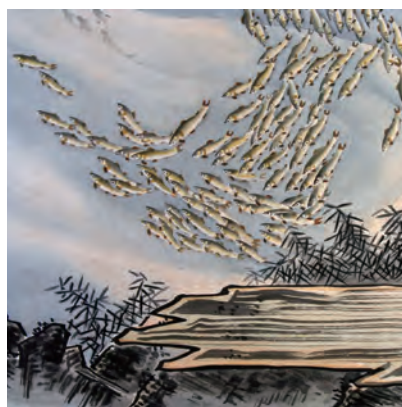
高津川は1級河川で唯一ダムのない日本有数の清流。



津和野百景図 第一図 三本松城



津和野百景図 第十七図 祇園会鷺舞



津和野百景図 第八十六図 左鯉の香魚(あゆ)

認定ストーリー

13

タイトル：津和野今昔～百景図を歩く～

分類：地域

所在自治体：津和野町

ストーリーの概要：幕末の津和野藩の風景などを記録した「津和野百景図」には、藩内の名所、自然、伝統芸能、風俗、人情などの絵画と解説が100枚描かれている。明治以降、不断の努力によって町民は多くの開発から街を守るとともに、新しい時代の風潮に流されることなく古き良き伝統を継承してきた。百景図に描かれた当時の様子と現在の様子を対比させつつ往時の息吹が体験できる稀有な城下町である。

主な構成文化財： - 津和野城跡
- 弥栄神社の鷺舞
- 殿町

問い合わせ先：津和野町日本遺産センター

島根県鹿足郡津和野町後田口253 TEL:0856-72-1901 FAX:0856-72-1902

E-mail: kankou@town.tsuwano.lg.jp



住吉祭



坂道の景観



浄土寺山不動岩から見る夕景

認定ストーリー

14

タイトル：尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市

分類：地域

所在自治体：尾道市

ストーリーの概要：尾道三山と対岸の島に囲まれた尾道は、町を中心を通る「海の川」とも言うべき尾道水道の恵みによって、中世の開港以来、瀬戸内随一の良港として繁栄し、人・もの・財が集積した。

その結果、尾道三山と尾道水道の間の限られた生活空間に多くの寺社や庭園、住宅が造られ、それらを結ぶ入り組んだ路地・坂道とともに中世から近代の趣を今に残す箱庭的都市が生み出された。迷路に迷い込んだかのような路地や、坂道を抜けた先に突如として広がる風景は、限られた空間ながら実に様々な顔を見せ、今も昔も多くの人を惹きつけてやまない。

- 主な構成文化財：
- 天寧寺塔婆
 - みはらし亭
 - 坂道と路地の景観
 - 浄土寺本堂及び境内地、多宝塔等
 - 住吉祭

問い合わせ先：尾道市企画財務部文化振興課文化財係

広島県尾道市久保一丁目15番1号 TEL:0848-20-7425 FAX:0848-37-2740

E-mail : bunkazai@city.onomichi.hiroshima.jp



「出会い」

※フォトコンテスト受賞作品



「夜明けの遍路」

※フォトコンテスト受賞作品



「羅漢遍路」

※フォトコンテスト受賞作品

認定ストーリー

15

タイトル：「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

分類：シリアル

所在自治体：徳島県（徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、阿波市、三好市、勝浦町、神山町、牟岐町、美波町、海陽町、板野町、上板町）、高知県（高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、芸西村、中土佐町、四万十町、大月町、三原村、黒潮町）、愛媛県（松山市、今治市、宇和島市、新居浜市、西条市、大洲市、四国中央市、西予市、久万高原町、砥部町、内子町、愛南町）、香川県（高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、宇多津町、多度津町）

ストーリーの概要：弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1,400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。

四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

- 主な構成文化財：
- 竹林寺（高知県高知市）
 - 本山寺（香川県三豊市）
 - 阿波遍路道 鶴林寺道（徳島県勝浦町）
 - 太山寺（愛媛県松山市）
 - 大寶寺参道（愛媛県久万高原町）

問い合わせ先：高知県総務部政策企画課

高知県高知市丸ノ内1丁目2番20号 TEL:088-823-9332 FAX:088-823-9267

E-mail: 111601@ken.pref.kochi.lg.jp



戒壇院 年末のライトアップ



大宰府政庁跡



木造毘沙門天立像(平安前期)

認定ストーリー

16

タイトル：古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～

分類：地域

所在自治体：太宰府市

ストーリーの概要：大宰府政庁を中心としたこの地域は、東アジアからの文化、宗教、政治、人などが流入・集積するのみならず、古代日本にとって東アジアとの外交、軍事の拠点でもあり、軍事施設や都市機能を建設するのに地の利を活かした理想の場所であった。現在においても大宰府跡とその周辺景観は当時の面影を残し、宗教施設、迎賓施設、直線的な道や碁盤目の地割跡は、1,300年前の古代国際都市「西の都」を現代において体感できる場所である。

主な構成文化財： - 大宰府政庁跡

- 観世音寺・戒壇院

- 水城跡

- 宝満山

- 太宰府天満宮

- 太宰府天満宮神幸行事

問い合わせ先：太宰府市教育委員会文化財課

福岡県太宰府市観世音寺1-1-1 TEL:092-921-2121(内475) FAX:092-921-3667

E-mail: bunkazai@city.dazaifu.lg.jp



矢堅目の夕日(新上五島町)



原の辻遺跡



金石城跡(櫓門)

認定ストーリー

17

タイトル：国境の島 壱岐・対馬・五島～古代からの架け橋～

分類：シリアル

所在自治体：長崎県(対馬市、壱岐市、五島市、新上五島町)

ストーリーの概要：日本本土と大陸の中間に位置することから、長崎県の島は、古代よりこれらを結ぶ海上交通の要衝であり、交易・交流の拠点であった。特に朝鮮との関わりは深く、壱岐は弥生時代、海上交易で王都を築き、対馬は中世以降、朝鮮との貿易と外交実務を独占し、中継貿易の拠点や迎賓地として栄えた。その後、中継地の役割は希薄になったが、古代住居跡や城跡、庭園等は当時の興隆を物語り、焼酎や麺類等の特産品、民俗行事等にも交流の痕跡が窺える。国境の島ならではの融和と衝突を繰り返しながらも、連綿と交流が続くこれらの島は、国と国、民と民の深い絆が感じられる稀有な地域である。

- 主な構成文化財：
- 金石城跡(対馬市)
 - 原の辻遺跡(壱岐市)
 - 三井楽(みみらくのしま)(五島市)
 - 日島の石塔群(新上五島町)

問い合わせ先：長崎県文化観光国際部文化振興課文化施設振興班

長崎県長崎市江戸町2-13 TEL:095-895-2762 FAX:095-829-2336

E-mail : s38010@pref.nagasaki.lg.jp



城泉寺阿弥陀堂：今も静かにただずむお堂と本尊は、人吉球磨の保守文化の象徴



白太鼓踊り



ウンスカルタ：江戸時代、全国で流行したが、現在、遊び方が伝わるのは当地のみ



球磨焼酎：江戸時代も貴重なお米で生産、当時の人吉球磨の物質的豊かさの象徴

認定ストーリー

18

タイトル：相良700年が生んだ保守と進取の文化
～日本でもっとも豊かな隠れ里—人吉球磨～

分類：シリアル

所在自治体：人吉市・錦町・あさぎり町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村
山江村・球磨村

ストーリーの概要：人吉球磨の領主相良氏は、急峻な九州山地に囲まれた地の利を生かして外敵の侵入を拒み、日本史上稀な「相良700年」と称される長きにわたる統治を行った。その中で領主から民衆までが一体となったまちづくりの精神が形成され、社寺や仏像群、神楽等をともに信仰し、楽しみ、守る文化が育まれた。同時に進取の精神をもってしたたかに外来の文化を吸収し、独自の食文化や遊戯、交通網が整えられた。保守と進取、双方の精神から昇華された文化の証が集中して現存している地域は他になく、日本文化の縮図を今に見ることができる地域であり、司馬遼太郎はこの地を「日本でもっとも豊かな隠れ里」と記している。

- 主な構成文化財：
- 人吉城跡(人吉市)
 - 城泉寺阿弥陀堂(湯前町)
 - 青井阿蘇神社とおくんち祭(人吉市)
 - 球磨焼酎(広域)
 - 相良三十三観音めぐり(広域)
 - 球磨神楽(広域)

問い合わせ先：人吉市教育委員会歴史遺産課保存活用係
熊本県人吉市麓町16番地 TEL:0966-22-2324 FAX:0966-22-2134
E-mail : rekishiisan@city.hitoyoshi.lg.jp



大崎八幡宮



塩竈神社帆手祭・花祭



黒漆五枚胴具足 兜・小具足付

認定ストーリー

19

タイトル：政宗が育んだ“伊達”な文化

分類：シリアル

所在自治体：宮城県（仙台市、塩竈市、多賀城市、松島町）

ストーリーの概要：仙台藩を築いた伊達政宗は、戦国大名として政治・軍事面での活躍は広く知られるところであるが、時代を代表する文化人でもあり、文化的にも上方に負けない気概で、自らの“都”仙台を創りあげようとした。

政宗は、その気概をもって、古代以来東北の地に根付いてきた文化の再興・再生を目指す中で、伊達家で育まれた伝統的な文化を土台に、上方の桃山文化の影響を受けた豪華絢爛、政宗の個性ともいべき意表を突く粋な斬新さ、さらには海外の文化に触発された国際性、といった時代の息吹を汲み取りながら、これまでにない新しい“伊達”な文化を仙台の地に華開かせていった。

そして、その文化は政宗だけに留まらず、時代を重ねるにつれ、後の藩主に、さらには仙台から全国へ、そして武士から庶民にまで、さまざまな方面へ広がり、定着し、熟成を加えていった。

- 主な構成文化財：
- 黒漆五枚胴具足 兜・小具足付（仙台市）
 - 瑞巖寺本堂・五大堂（松島町）
 - 塩竈神社（塩竈市）
 - おくのほそ道の風景地 壺碑（つぼのいしぶみ）（多賀城市）
 - 大崎八幡宮の松焚祭（どんと祭）（仙台市）

問い合わせ先：宮城県教育庁文化財保護課保存活用班

宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 TEL:022-211-3683 FAX:022-211-3693

E-mail:suga-ma616@pref.miyagi.jp



月山神社



湯殿山(滝行を行う御滝)



羽黒山の峰入り

認定ストーリー

20

タイトル：自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』

～樹齢300年を超える杉並木につつまれた2,446段の石段から始まる出羽三山～

分類：シリアル

所在自治体：山形県(鶴岡市、西川町、庄内町)

ストーリーの概要：山形県の中央に位置する出羽三山の雄大な自然を背景に生まれた羽黒修験道では、羽黒山は人々の現世利益を叶える現在の山、月山はその高く秀麗な姿から祖霊が鎮まる過去の山、湯殿山はお湯の湧き出る赤色の巨岩が新しい生命の誕生を表す未来の山と言われます。

三山を巡ることは、江戸時代に庶民の間で『生まれかわりの旅』として広がり、地域の人々に支えられながら、日本古来の、山の自然と信仰の結び付きを今に伝えています。羽黒山の杉並木につつまれた石段から始まるこの旅は、訪れる者に自然の霊気と自然への畏怖を感じさせ、心身を潤し明日への新たな活力を与えます。

- 主な構成文化財：
- 羽黒山(鶴岡市)
 - 月山神社(庄内町)
 - 湯殿山(鶴岡市)
 - 旧遠藤家住宅(鶴岡市)
 - 大日坊仁王門(鶴岡市)
 - 羽黒山の峰入り(鶴岡市)

問い合わせ先：山形県教育庁文化財・生涯学習課

山形市松波二丁目8番1号 TEL:023-630-3341 FAX:023-630-2874

E-mail:ybunkazai@pref.yamagata.jp



慧日寺跡(磐梯町)



下郷町大内宿(下郷町)



さざえ堂(会津若松市)

認定ストーリー

21

タイトル：会津の三十三観音めぐり～巡礼を通して観た往時の会津の文化～

分類：シリアル

所在自治体：会津若松市・喜多方市・南会津町・下郷町・檜枝岐村・只見町・北塩原村・
西会津町・磐梯町・猪苗代町・会津坂下町・湯川村・柳津町・会津美里町・三島町・
金山町・昭和村

ストーリーの概要：東北地方で最も早く仏教文化が開いた会津は、今も平安初期から中世、近世の仏像や寺院が多く残り「仏都会津」とよばれる。その中でも三十三観音巡りは、古来のおおらかな信仰の姿を今に残し、広く会津の人々に親しまれている。会津藩祖、名君保科正之が定めた会津三十三観音巡りは広く領民に受け入れられ、のちに会津各地に様々な三十三観音がつくられた。会津の三十三観音は、国宝を蔵する寺院から山中に佇むひなびた石仏までいたるところにその姿をとどめており、これら三十三観音を巡った道を、道中の宿場や門前町で一服しながらたどることで、往時の会津の人々のおおらかな信仰と娯楽を追体験することができるのである。

- 主な構成文化財：
- 慧日寺跡(磐梯町)
 - 観音寺・木造如意輪観音坐像(喜多方市)
 - 左下山観音寺・左下り観音堂(会津美里町)
 - 圓藏寺・菊光堂(柳津町)
 - 猪苗代三十三観音(猪苗代町)
 - 下郷町大内宿(下郷町)

問い合わせ先：会津若松市観光課 広域観光グループ
福島県会津若松市東栄町3-46 会津若松市役所第三庁舎
TEL:0242-39-1251 FAX:0242-39-1433
E-mail:kanko@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp



猪苗代湖



沼上発電所



十六橋水門



開成館

認定ストーリー

22

タイトル：未来を拓いた「一本の水路」
－大久保利通“最期の夢”と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代－

分類：シリアル

所在自治体：郡山市・猪苗代町

ストーリーの概要：明治維新後、武士の救済と、新産業による近代化を進めるため、安積地方の開拓に並々ならぬ想いを抱いていた大久保利通。夢半ばで倒れた彼の想いは、郡山から西の天空にある猪苗代湖より水を引く「安積開拓・安積疏水開さく事業」で実現した。

奥羽山脈を突き抜ける「一本の水路」は、外国の最新技術の導入、そして、この地域と全国から人、モノ、技を結集し、苦難を乗り越え完成した。この事業は、猪苗代湖の水を治め、米や鯉など食文化を一層豊かにし、さらには水力発電による紡績等の新たな産業の発展をもたらした。

未来を拓いた「一本の水路」は、多様性と調和し共生する風土と、開拓者の未来を想う心、その想いが込められた桜とともに、今なおこの地に受け継がれている。

- 主な構成文化財：
- 猪苗代湖(郡山市、猪苗代町)
 - 開成館(郡山市)
 - 十六橋水門(猪苗代町)
 - 安積疏水麓山の飛瀑(郡山市)
 - 旧福島県尋常中学校本館(郡山市)

問い合わせ先：郡山市文化スポーツ部文化振興課

福島県郡山市朝日一丁目23番7号 TEL:024-924-2661 FAX:024-935-7834

E-mail:bunkashinko@city.koriyama.fukushima.jp



大勢の参拝客で賑わう成田山新勝寺の大本堂



旧佐倉藩資料を展示(国登録建造物 千葉県立佐倉高等学校記念館)



伝統的な町並み(香取市佐原伝統的建造物群保存地区)



屏風ヶ浦(国名勝・天然記念物)

認定ストーリー

23

タイトル:「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み

ー佐倉・成田・佐原・銚子:百万都市江戸を支えた江戸近郊の四つの代表的町並み群ー」

分類: シリアル

所在自治体: 千葉県(佐倉市、成田市、香取市、銚子市)

ストーリーの概要: 北総地域は、百万都市江戸に隣接し、関東平野と豊かな漁場の太平洋を背景に、利根川東遷により発達した水運と江戸に続く街道を利用して江戸に東国の物産を供給し、江戸のくらしや経済を支えた。こうした中、江戸文化を取り入れることにより、城下町の佐倉、成田山の門前町成田、利根水運の河岸、香取神宮の参道の起点の佐原、漁港・港町、そして磯巡りの観光客で賑わった銚子という4つの特色ある都市が発展した。

これら四都市では、江戸庶民も訪れた4種の町並みや風景が残り、今も東京近郊にありながら江戸情緒を体感することができる。

成田空港からも近いこれらの都市は、世界から一番近い「江戸」といえる。

- 主な構成文化財:
- 佐倉の武家屋敷群 旧河原家住宅・旧但馬家住宅・旧武居家住宅(佐倉市)
 - 成田山新勝寺(成田市)
 - 成田山門前の町並み 大野屋旅館・三橋薬局店舗等・成田の商業用具(成田市)
 - 香取市佐原伝統的建造物群保存地区(香取市)
 - 佐原の山車行事(香取市)
 - 銚子外川の町並み(銚子市)

問い合わせ先: 千葉県教育庁教育振興部文化財課

千葉県千葉市中央区市場町1番1号 TEL:043-223-4082 FAX:043-221-8126

E-mail: kybunk4@mz.pref.chiba.lg.jp



大山



阿夫利神社(現・大山阿夫利神社・下社)



浮世絵：歌川豊国「大當大願成就有が瀧壺」文久3(1863)年



大山阿夫利神社の「巫子舞」

認定ストーリー

24

タイトル：江戸庶民の信仰と行楽の地～巨大な木太刀を担いで「大山詣り」～

分類：地域

所在自治体：伊勢原市

ストーリーの概要：大山詣りは、鳶などの職人たちが巨大な木太刀^{きだち}を江戸から担いで運び、滝で身を清めてから奉納と山頂を目指すといった、他に例をみない庶民参拝である。そうした姿は歌舞伎や浮世絵にとりあげられ、また手形が不要な小旅行であったことから人々の興味関心を呼び起こし、江戸の人口が100万人の頃、年間20万人もの参拝者が訪れた。
大山詣りは、今も先導師たちにより脈々と引き継がれている。首都近郊に残る豊かな自然とふれあいながら歴史を巡り、山頂から眼下に広がる景色を目にしたとき、大山にあこがれた先人の思いと満足を体感できる。

- 主な構成文化財：
- 鉄造不動明王及び二童子像
 - 阿夫利神社(現・大山阿夫利神社)
 - 大山や大山詣りの様子が描かれた「浮世絵」
 - 豆腐料理
 - 大山阿夫利神社の大山能狂言

問い合わせ先：伊勢原市教育委員会 教育部文化財課

神奈川県伊勢原市田中348 TEL:0463-94-4711 FAX:0463-95-7615

E-mail:bunkazai@isehara-city.jp



鶴岡八幡宮 ぼんぼり(雪洞)祭



鎌倉彫



鎌倉文学館



古我邸

認定ストーリー

25

タイトル:「いざ、鎌倉」 ～歴史と文化が描くモザイク画のまちへ～

分類: 地域

所在自治体: 鎌倉市

ストーリーの概要: 鎌倉は、源頼朝によって幕府が開かれた後、急速に都市整備が進められ、まちの中心には鶴岡八幡宮、山には切通、山裾には禅宗寺院をはじめとする大寺院が造られた。

この地に活きた武士たちの歴史と哀愁を感じられる古都鎌倉は、近世には信仰と遊山の対象として脚光を浴び、近代には多くの別荘が建てられたが、歴史的遺産と自然とが調和したまちの姿は守り伝えられてきた。

このような歴史を持つ古都鎌倉は、自然と一体となった中世以来の社寺が醸し出す雰囲気の中に、各時代の建築や土木遺構、鎌倉文士らが残した芸術文化、生業や行事など様々な要素が、まるでモザイク画のように組み合わせられた特別なまちとなったのである。

- 主な構成文化財:
- 鶴岡八幡宮、御霊神社
 - 建長寺、円覚寺
 - 鎌倉大仏(銅造阿弥陀如来坐像)
 - 鎌倉文学館、古我邸
 - 流鏑馬、ぼんぼり(雪洞)祭
 - 鎌倉彫

問い合わせ先: 鎌倉市 歴史まちづくり推進担当

神奈川県鎌倉市御成町18-10 TEL:0467-61-3849 FAX:0467-23-1085

E-mail:rekimachi@city.kamakura.kanagawa.jp



笹山遺跡出土品(国宝)



笹山遺跡



弥彦山・角田山

認定ストーリー

26

タイトル:「なんだ、コレは！」 信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化

分類: シリアル

所在自治体: 新潟市・三条市・長岡市・十日町市・津南町

ストーリーの概要: 日本一の大河・信濃川の流域は、8000年前に気候が変わり、世界有数の雪国となった。この雪国から5000年前に誕生した「火焰型土器」は大仰な4つの突起があり、縄文土器を代表するものである。火焰型土器の芸術性を発見した岡本太郎は、この土器を見て「なんだ、コレは！」と叫んだという。火焰型土器を作った人々のムラは信濃川流域を中心としてあり、その規模と密集度は日本有数である。このムラの跡に佇めば、5000年前と変わらぬ独特の景観を追体験できる。また、山・川・海の幸とその加工・保存の技術、アンギン、火焰型土器の技を継承するようなモノづくりなど、信濃川流域には縄文時代に起源をもつ文化が息づいている。火焰型土器は日本文化の源流であり、浮世絵、歌舞伎と並ぶ日本文化そのものである。

- 主な構成文化財:
- 笹山遺跡出土品(国宝)(十日町市)
 - 馬高・三十稲場遺跡(長岡市)
 - 弥彦山・角田山(長岡市・新潟市)
 - 八木ヶ鼻(三条市)
 - 秋山郷(津南町)

問い合わせ先: 津南町教育委員会 文化財班

新潟県中魚沼郡津南町下船渡乙835番地 TEL:025-765-5511 FAX:025-765-5511

E-mail:kyoiku@town.tsunan.niigata.jp



碧玉アクセサリ（八日市地方遺跡出土品）



滝ヶ原アーチ石橋群



滝ヶ原石切り場

認定ストーリー

27

タイトル：『珠玉と歩む物語』小松 ～時の流れの中で磨き上げた石の文化～

分類：地域

所在自治体：小松市

ストーリーの概要：小松の人々は、弥生時代の碧玉の玉づくりを始まりとして2300年にわたり、金や銅の鉱石、メノウ、オパール、水晶、碧玉の宝石群、良質の凝灰岩石材、九谷焼原石の陶石などの石の資源を見出し、時代のニーズに応じて、現代の技術をもってしても再現が困難な高度な加工技術を磨き上げ、ヤマト王権の諸王たちが権威の象徴として挙げて求めるなど、人・モノ・技術が交流する豊かな石の文化を築き上げてきている。



東京

- 主な構成文化財：
- 八日市地方遺跡出土品
 - 河田山古墳群の横穴式石室
 - 小松城本丸やぐら台石垣
 - 滝ヶ原アーチ石橋群
 - 観音下・滝ヶ原石切り場
 - 連房式登窯（登窯展示館）
 - 那谷寺

問い合わせ先：小松市経済観光文化部 観光交流課

石川県小松市小馬出町91番地 TEL:0761-24-8076 FAX:0761-23-6404

E-mail:kankou@city.komatsu.lg.jp



中山道



大通寺鐘樓門



妻籠宿保存地区



南木曽ろくろ製品

認定ストーリー

28

タイトル：木曽路はすべて山の中 ～ 山を守り 山に生きる～

分類：シリアル

所在自治体：南木曽町・大桑村・上松町・木曽町・木祖村・王滝村・塩尻市

ストーリーの概要：戦国時代が終わり新たな町づくりがすすめられると、城郭・社寺建築の木材需要の急増は全国的な森林乱伐をもたらした。森林資源が地域の経済を支えていた木曽谷も江戸時代初期に森林資源の枯渇という危機に陥る。所管する尾張藩は、禁伐を主体とする森林保護政策に乗り出し、木曽谷の人々は、新たな地場産業に暮らしの活路を見出した。

そして、江戸時代後期、木曽漆器などの特産品は、折しも街道整備がすすみ増大した御嶽登拝の人々などによって、宿場から木曽路を辿り全国に広められた。江戸時代、全国に木曽の名を高めた木曽檜や木曽馬、木曽漆器など伝統工芸品は、今も木曽谷に息づく木曽の代名詞である。

- 主な構成文化財：
- 赤沢自然休養林(上松町)
 - 木祖村史跡 鳥居峠(木祖村)
 - 曲物(塩尻市)
 - らっぽしょ祭り(木曽町)
 - 清滝(王滝村)
 - 阿寺溪谷(大桑村)
 - 妻籠宿保存地区(南木曽町)

問い合わせ先：南木曽町教育委員会 文化財町並係

長野県木曽郡南木曽町吾妻52-4 TEL:0264-57-3335 FAX:0264-57-2285

E-mail:kyouiku@town.nagiso.nagano.jp



一位一刀彫



秋の高山祭



国分寺三重塔

認定ストーリー

29

タイトル：^{ひだのたくみ}飛騨匠の技・こころ 一木とともに、今に引き継ぐ1300年—

分類：地域

所在自治体：高山市

ストーリーの概要：^{ひだのたくみ}「飛騨工制度」は古代に木工技術者を都へ送ることで税に充てる全国唯一の制度で、飛騨の豊かな自然に育まれた「木を生かす」技術や感性と、実直な気質は古代から現代まで受け継がれ、高山の文化の基礎となっている。市内には中世の社寺建築群や近世・近代の大工一門の作品群、伝統工芸など、現在も様々なところで飛騨匠の技とこころに触れることができる。これは私たちが木と共に生きてきた1300年の高山の歴史を体感する物語である。



- 主な構成文化財：
- (古代の飛騨匠) 飛騨国分寺塔跡、飛騨国分寺の大イチョウ
 - (中世社寺建築) 安国寺経蔵、荒城神社本殿
 - (高山城の遺構) 神明神社絵馬殿、法華寺本堂、雲龍寺鐘楼門
 - (大工一門の建築) 大雄寺鐘堂、東照宮本殿
 - (伝統工芸) 一位一刀彫、飛騨春慶、高山祭屋台

問い合わせ先：高山市教育委員会事務局文化財課

岐阜県高山市花岡町2丁目18番地 TEL:0577-35-3156 FAX:0577-35-3172

E-mail:bunkazai@city.takayama.lg.jp



伊弉諾神宮



五斗長垣内遺跡



松帆銅鐸(奈良文化研究所 提供)

認定ストーリー

30

タイトル：『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」
～古代国家を支えた海人の営み～

分類：シリアル

所在自治体：淡路市・洲本市・南あわじ市

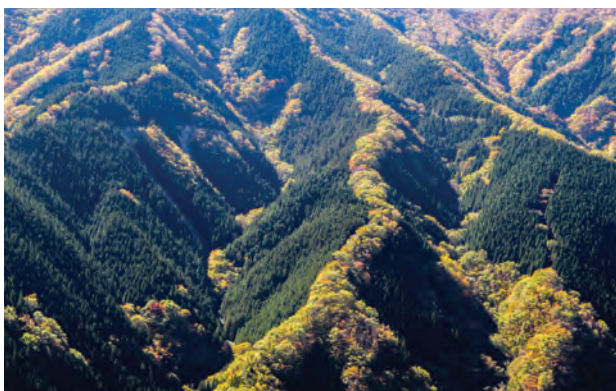
ストーリーの概要：わが国最古の歴史書『古事記』の冒頭を飾る「国生み神話」。この壮大な天地創造の神話の中で最初に誕生する“特別な島”が淡路島である。その背景には、新たな時代の幕開けを告げる金属器文化をもたらし、後に塩づくりや巧みな航海術で畿内の王権や都の暮らしを支えた“海人”と呼ばれる海の民の存在があった。畿内の前面に浮かぶ瀬戸内最大の島は、古代国家形成期の中枢を支えた“海人”の歴史を今に伝える島である。

- 主な構成文化財：
- 五斗長垣内遺跡と出土品(淡路市)
 - 先山千光寺(洲本市)
 - 鳴門海峡とうずしお(南あわじ市)
 - 淡路人形浄瑠璃(南あわじ市)
 - 絵島(淡路市)

問い合わせ先：淡路市教育委員会

兵庫県淡路市生穂新島8番地 TEL:0799-64-2520 FAX:0799-64-2566

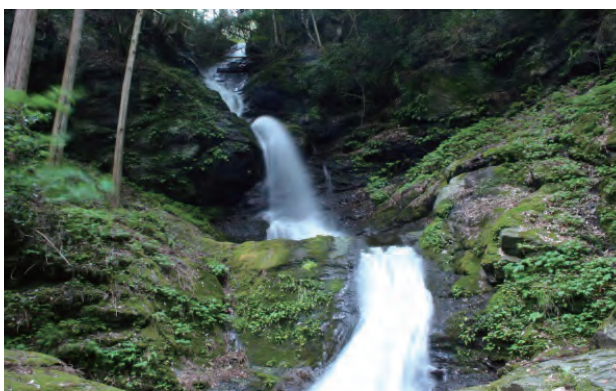
E-mail:awaji_shakai@city.awaji.lg.jp



吉野の天然林と人工林



金峯山寺本堂(吉野町)



七滝八壺(東吉野村)



吉野水分神社(吉野町)

認定ストーリー

31

タイトル：森に生まれ、森を育んだ人々の暮らしとところ～美林連なる造林発祥の地“吉野”～

分類：シリアル

所在自治体：奈良県(吉野町、下市町、黒滝村、天川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村)

ストーリーの概要：我が国造林発祥の地である奈良県吉野地域には、約500年にわたり培われた造林技術により育まれた重厚な深緑の絨毯の如き日本一の人工の森と、森に暮らす人々が神仏坐す地として守り続ける野趣溢れる天然の森が、訪れる人々を圧倒する景観で迎えてくれる。

ここに暮らす人々が、それらの森を長きに亘って育み、育まれる中で作り上げた食や暮らしの文化が今に伝わり、訪れる者はそれを体感して楽しむことができる。

- 主な構成文化財：
- 三之公川トガサワラ原始林(川上村)
 - 大峰山寺(天川村)
 - 黒滝村旧役場庁舎(黒滝村)
 - 河合の弓引き行事(八日薬師)(上北山村)
 - 丹生の太鼓踊り(下市町)
 - 前鬼のトチノキ巨樹群(下北山村)
 - 柿の葉寿司

問い合わせ先：奈良県吉野町教育委員会事務局

奈良県吉野郡吉野町大字上市77-1 TEL:0746-32-0190 FAX:0746-32-8875

E-mail:syakai_e@town.yoshino.lg.jp



河内祭の御舟行事



九龍島



燈明崎 山見台跡



三輪崎の鯨踊

認定ストーリー

32

タイトル：鯨とともに生きる

分類：シリアル

所在自治体：和歌山県(新宮市、那智勝浦町、太地町、串本町)

ストーリーの概要：鯨は、日本人にとって信仰の対象となる特別な存在であった。人々は、大海原を悠然と泳ぐ巨体を畏れたものの、時折浜辺に打ち上げられた鯨を食料や道具の素材などに利用していたが、やがて生活を安定させるため、捕鯨に乗り出した。

熊野灘沿岸地域では、江戸時代に入り、熊野水軍の流れを汲む人々が捕鯨の技術や流通方法を確立し、これ以降、この地域は鯨に感謝しつつ捕鯨とともに生きてきた。当時の捕鯨の面影を残す旧跡が町中や周辺に点在し、鯨にまつわる祭りや伝統芸能、食文化が今も受け継がれている。

主な構成文化財： - 河内祭の御舟行事(串本町)

- 九龍島(串本町)

- 燈明崎 山見台跡(太地町)

- 三輪崎の鯨踊(新宮市)

- 塩竈神社のせみ祭り(那智勝浦町)

問い合わせ先：和歌山県商工観光労働部観光局観光振興課

和歌山県和歌山市小松原通一丁目1番地 TEL:073-441-2777 FAX:073-432-8313

E-mail:e0624001@pref.wakayama.lg.jp



大山(だいせん) 雲海に浮かぶ中国地方最大の大山



大山御幸 承平6(936)年に鎮護国家を祈願して始まったと伝わる大山御幸



大神山神社奥宮の石畳道 自然石が敷かれた延長700mの石畳道



大神山神社奥宮 大山の地藏信仰の中心であった旧大智明権現社

認定ストーリー

33

タイトル：地藏信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市

分類：シリアル

所在自治体：大山町・伯耆町・江府町・米子市

ストーリーの概要：大山の山頂に現れた万物を救う地藏菩薩への信仰は、平安時代末以降、牛馬のご加護を願う人々を大山寺に集めた。江戸時代には、大山寺に庇護され信仰に裏打ちされた全国唯一の「大山牛馬市」が隆盛を極め、明治時代には日本最大の牛馬市へと発展した。

西国諸国からの参詣者や牛馬の往来で賑わった大山道沿いには、今も往時を偲ぶ石畳道や宿場の町並み、所子に代表される農村景観、「大山おこわ」など独特の食文化、大山の水にまつわる「もひとり神事」などの行事、風習が残されている。ここには、人々が日々「大山さんのおかげ」と感謝の念を捧げながら大山を仰ぎ見る暮らしが息づいている。

- 主な構成文化財：
- 大山(大山町、伯耆町、江府町)
 - 大神山神社奥宮の石畳道(大山町)
 - 地藏滝の泉と地藏滝地藏(伯耆町)
 - 大山町所子伝統的建造物群保存地区(大山町)
 - 旧加茂川の地藏(米子市)

問い合わせ先：大山町教育委員会事務局人権・社会教育課文化財室

鳥取県西伯郡大山町御来屋263番地1 TEL:0859-54-5212 FAX:0859-54-5217

E-mail:bunkazai@daisen.jp



槻の屋神楽、大原神職神楽、海潮山王寺神楽、海潮神代神楽、日登神楽、佐世神楽



玉鋼製造(たたら吹き)伝承



奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観



金屋子神社

認定ストーリー

34

タイトル：出雲國たたら風土記 ～鉄づくり千年が生んだ物語～

分類：シリアル

所在自治体：島根県(雲南市、安来市、奥出雲町)

ストーリーの概要：日本古来の鉄づくり「たたら製鉄」で繁栄した出雲の地では、今日もなお世界で唯一たたら製鉄の炎が燃え続けています。たたら製鉄は、優れた鉄の生産だけでなく、原料砂鉄の採取跡地を広大な稲田に再生し、燃料の木炭山林を永続的に循環利用するという、人と自然とが共生する持続可能な産業として日本社会を支えてきました。また、鉄の流通は全国各地の文物をもたらし、都のような華やかな地域文化をも育みました。
今もこの地は、神代の時代から先人たちが刻んできた鉄づくり千年の物語が終わることなく紡がれています。

- 主な構成文化財：
- 菅谷たたら山内(雲南市)
 - 田部家土蔵群と吉田の街並み(雲南市)
 - 金屋子神社(安来市)
 - 民謡 安来節(安来市)
 - 日本刀(奥出雲町)
 - 絲原家住宅(奥出雲町)

問い合わせ先：雲南市役所 産業振興部 商工観光課
島根県雲南市木次町里方521-1 TEL:0854-40-1054 FAX:0854-40-1059
E-mail:suzuki-yuriko@city.unnan.shimane.jp



東京湾要塞跡 猿島砲台跡(横須賀市)



海上自衛隊呉地方総監部第一庁舎(旧呉鎮守府庁舎)(呉市)



佐世保重工業(株)佐世保造船所施設群(佐世保市)



舞鶴旧鎮守府倉庫施設(舞鶴市)

認定ストーリー

35

タイトル：鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～

分類：シリアル

所在自治体：神奈川県(横須賀市)、広島県(呉市)、長崎県(佐世保市)、京都府(舞鶴市)

ストーリーの概要：明治期の日本は、近代国家として西欧列強に渡り合うための海防力を備えることが急務であった。このため、国家プロジェクトにより天然の良港を四つ選び軍港を築いた。静かな農漁村に人と先端技術を集積し、海軍諸機関と共に水道、鉄道などのインフラが急速に整備され、日本の近代化を推し進めた四つの軍港都市が誕生した。百年を超えた今もなお現役で稼働する施設も多く、躍動した往時の姿を残す旧軍港四市は、どこか懐(なつ)かしくも逞しく、今も訪れる人々を惹きつけてやまない。



主な構成文化財： - 東京湾要塞跡 猿島砲台跡(横須賀市)

- 逸見波止場衛門(横須賀市)

- 海上自衛隊呉地方総監部第一庁舎(旧呉鎮守府庁舎)(呉市)

- 旧呉鎮守府司令長官官舎(呉市)

- 佐世保市民文化ホール(旧海軍佐世保鎮守府凱旋記念館)(佐世保市)

- 旧佐世保無線電信所(針尾送信所)施設(佐世保市)

- 舞鶴赤れんがパーク1号棟～5号棟(舞鶴旧鎮守府倉庫施設 魚形水雷庫、予備艦兵器庫、弾丸庫並小銃庫、雑器庫並預兵器庫、第三水雷庫)(舞鶴市)

- 海軍割烹術参考書(復刻版／原本は海上自衛隊第四術科学学校所蔵)(舞鶴市)

問い合わせ先：呉市企画部企画課調整グループ

広島県呉市中央4丁目1番6号 TEL:0823-25-3225 FAX:0823-21-8849

E-mail:kikaku@city.kure.lg.jp



能島城跡



能島村上家伝来資料群



別宮大山祇神社



法楽焼

認定ストーリー

36

タイトル：「日本最大の海賊」の本拠地：芸予諸島

ー よみがえる村上海賊“Murakami KAIZOKU”の記憶ー

分類：シリアル

所在自治体：愛媛県（今治市）、広島県（尾道市）

ストーリーの概要：戦国時代、宣教師ルイス・フロイスをして「日本最大の海賊」と言わしめた「村上海賊」「Murakami KAIZOKU」。理不尽に船を襲い、金品を略奪する「海賊」（パイレーツ）とは対照的に、村上海賊は掟に従って航海の安全を保障し、瀬戸内海の交易・流通の秩序を支える海上活動を生業とした。その本拠地「芸予諸島」には、活動拠点として築いた「海城」群など、海賊たちの記憶が色濃く残っている。尾道・今治をつなぐ芸予諸島をゆけば、急流が渦巻くこの地の利を活かし、中世の瀬戸内海航路を支配した村上海賊の生きた姿を現代において体感できる。

- 主な構成文化財：
- 大山祇神社の文化財（今治市）
 - 能島城跡（今治市）
 - 今治城跡（今治市）
 - 因島村上家伝来資料群（尾道市）
 - 白滝山（五百羅漢像）（尾道市）

問い合わせ先：村上海賊魅力発信推進協議会

事務局 今治市教育委員会事務局 文化振興課

愛媛県今治市北宝来町1-1-16 今治市役所第4別館3階

TEL:0898-36-1608 FAX:0898-24-2008

E-mail:bunka@imabari-city.jp



陶郷・中尾山(波佐見町)



三川内の磁器製作技術(透かし彫り)



柿右衛門(濁手)



大川内山(伊万里市)



肥前波佐見陶磁器窯跡(畑ノ原窯跡)

認定ストーリー

37

タイトル：日本磁器のふるさと 肥前 ～百花繚乱のやきものの散歩～

分類：シリアル

所在自治体：佐賀県(唐津市、伊万里市、武雄市、嬉野市、有田町)、
長崎県(佐世保市、平戸市、波佐見町)

ストーリーの概要：陶石、燃料(山)、水(川)など窯業を営む条件が揃う自然豊かな九州北西部の地「肥前」で、陶器生産の技を活かし誕生した日本磁器。肥前の各産地では、互いに切磋琢磨しながら、個性際立つ独自の華を開かせていった。その製品は全国に流通し、我が国の暮らしの中に磁器を浸透させるとともに、海外からも賞賛された。

今でも、その技術を受け継ぎ特色あるやきものが生み出される「肥前」。青空に向かってそびえる窯元の煙突やトンバイ塀は脈々と続く窯業の営みを物語る。この地は、歴史と伝統が培った技と美、景観を五感で感じることもできる磁器のふるさとである。

- 主な構成文化財：
- 有田内山伝統的建造物群保存地区(有田町)
 - 志田焼の里博物館(旧志田陶磁器株式会社工場)(嬉野市)
 - 福重家住宅主屋・旧福幸製陶所(波佐見町)
 - 肥前陶器窯跡(唐津市、武雄市)
 - 中野窯跡(平戸市)
 - やきもの市(有田町、伊万里市、嬉野市、唐津市、武雄市、佐世保市、波佐見町)

問い合わせ先：佐賀県文化・スポーツ交流局 文化課 文化遺産担当
佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号 TEL:0952-25-7236 FAX:0952-25-7179
E-mail:bunka@pref.saga.lg.jp

歴史の声に耳を傾けると
その土地に物語が生まれる。
文化財は保存から活用の時代へ！
日本遺産、はじまります。